

2012 年度前期 授業評価アンケート結果について

システムデザイン学部・研究科FDニュース No. 5

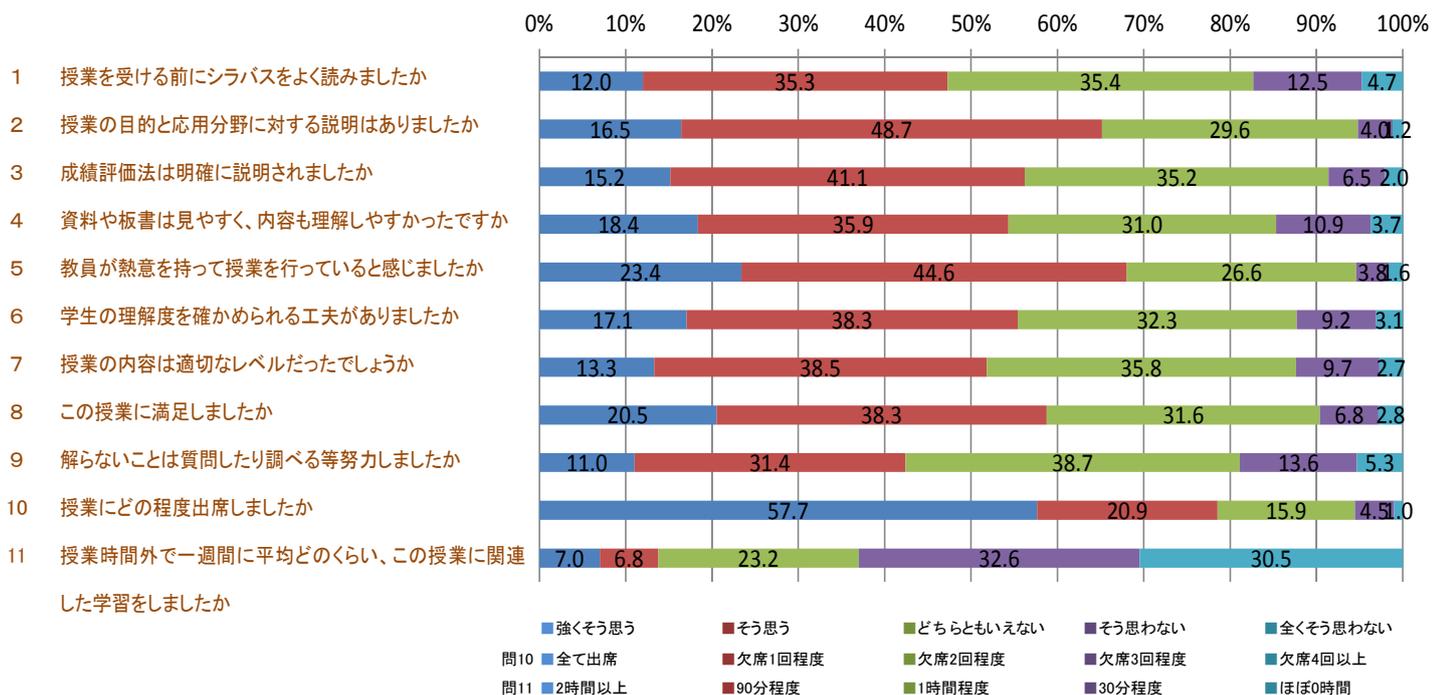
《 学生の皆さんへ 》システムデザイン学部・研究科では 2012 年7月9日～7月 23 日の期間、学部と研究科で前期に開講された講義科目を対象に授業評価アンケートを実施しました。今回も多くの学生の皆さんに回答していただきました。

ご協力大変ありがとうございました。

アンケートの集計ができましたので、その集計結果の概略をお知らせします。
詳しくはシステムデザイン学部 HP に掲載されています。そちらもご覧ください。

システムデザイン学部

(開講授業科目数 80 のうち 69 科目からの回答)



▶ 学生の皆さんから、こんな意見がありました

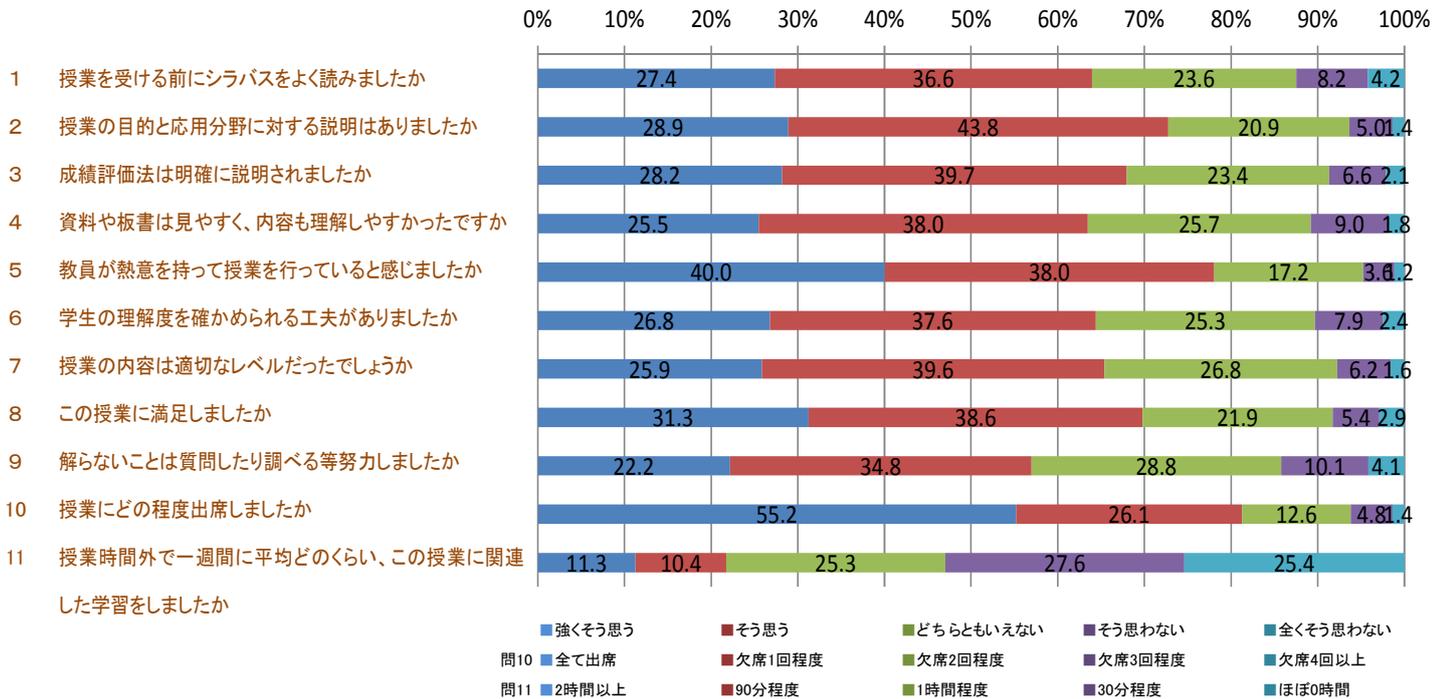
- ・毎回小テストがあり復習に役立った。
- ・教科書以外の例題を多く取り入れてもらえたらもっと良かったです。

▶ 授業担当者からのコメント

- ・講義資料をHPに公開し、ダウンロードできるようにする。
- ・プリントやPPTに答えをすべて書かず、板書や口頭で重要な情報を伝える。
- ・具体例を示し、分かり易くする。

システムデザイン研究科

(開講授業科目数 38 のうち 34 科目からの回答)



▶ 学生の皆さんから、こんな意見がありました

- ・様々な分野の研究手法、結果が聞けて楽しかった。勉強になった。
- ・知識についてではなく、プロセスについて学ぶのが新鮮だった。

▶ 授業担当者からのコメント

- ・英語のスライドも用いて、多角的な観点からも講義した。
- ・1回の授業ごとに調査課題を課し、自主的に学ぶ機会を設けた。
- ・5つの専攻の学生が参加していることはやり方によっては、「横断的」にもの考える機会を提供できる。

システムデザイン学部・研究科 FD 部会から

2012 年度前期授業評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今回も高い回収率(学部:86.3%, 研究科:89.5%)を確保することができ、教育状況を把握し、授業改善を図るうえで貴重な情報を収集することができました。昨年度実施分から、設問 12 及び 13 に教員オリジナルの設問を設定しています。また自由記述欄からは数字では表せない実態を得ることができています。アンケート結果は科目ごとの回答者個人が特定できないような形に集計処理されたうえで、個々の教員にフィードバックされ、授業のさらなる改善の参考にさせていただいています。今年度後期もまたアンケート実施を予定しておりますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

FD(ファカルティ ディベロップメント)とは

あまり聞きなれないと思う方がまだ多いのでは。起源は米国にあり、日本では「教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称」とされています。

首都大学東京
システムデザイン学部・研究科 FD 部会
2012 年9月 21 日